

2017 年度 各専門委員会開催

2017～2018 年度運動方針を具現化・実現するため、各専門委員会の取り組みをご紹介します (委員名については敬称略)。

各専門委員会を通じ、構成組織の皆様に様々なご提案をしますが、積極的なご協力とご理解をお願いします。

産業政策委員会 (委員長：宍戸 良太 / 委員：佐藤 正治・山野内 孝満・藤井 雅之)



2017 年度の産業政策委員会は、運動方針の基本的な考え方である「綱領」を基本理念とし「産業政策」を実現するための活動を展開していきます。

具体的には、「印刷労連産業政策」における中小企業政策の掘り下げと展開、および産業政策実現に向けた推薦議員との連携や連合における政策・制度要求への組み入れ等について検討します。また、印刷産業としての社会的および経済的地位の向上と魅力ある産業を求めて、日印産連との連携強化に取り組みます。さらに、各種指針を活用した健康対策、職場におけるストレス対策およびメンタルヘルス対策、全構成組織における「安全衛生委員会」の設置について、「安全衛生全般」として括り、個別具体的には指針の活用を促しながら、地方協議会における現状確認や課題共有を図る取り組みについても検討し実施していきます。

委員一丸となって取り組んでいきますので、各地方協議会ならびに構成組織のご協力とご支援をお願いいたします。

労働条件委員会 (委員長：佐藤 久恒 / 委員：吉岡 貞治・栗林 正直・原田 輝)

労働条件委員会では、運動方針の柱である「労働諸条件の維持向上」の具現化を図るために、春闘方針 (案) や年末一時金交渉取り組み (案) の策定を行っています。策定にあたっては連合方針を基本に印刷労連として、より具体的・効果的な内容となるよう、構成組織が要求・交渉を行っていく上で有効なものとなるよう心がけています。

労働諸条件については、印刷産業全体の課題として、産業間や企業間での格差の是正が求められており、印刷労連の賃金水準や労働法制に対応した制度の導入状況等について、実態把握と資料提供をしていきます。

また、10 月に実施しました、印刷労連労働条件実態調査については構成組織の皆さんにご協力頂きありがとうございました。提出頂きましたデータについては、運動方針の具現化や春闘要求策定等に有効に活用させていただきます。

引き続き、ご協力のほど、宜しくお願い致します。



組織委員会 (委員長：土口 裕／委員：山野内 孝満・小林 明・川尻 聡)



組織委員会は、①非正規雇用労働者の組織化、②60歳超の雇用労働者の組織化、③関連企業における未組織労働者の組織化、④印刷関連企業における労働組合の組織化の4つの課題を中心に取り組みを進めております。

「関連企業における未組織労働者の組織化」「印刷関連企業における労働組合の組織化」については、構成組織の協力により、組織拡大を図ってきました。今期も前期までの取り組みを踏襲し、構成組織への調査を行いながら、組織拡大に向け取り組んでいきます。

「非正規雇用労働者の組織化」「60歳超の雇用労働者の組織化」については、労働組合の組織率の低下に歯止めがかからない中でも、組織拡大に結びつく機会は多々存在しており、大きな課題として捉えております。働く中間の組織化は労働組合の義務として受け止め、一歩でも前進できるよう進めていきます。

印刷労連の方針に基づき、組織の充実・強化・拡大を目指して、そこで働く者の労働諸条件の向上、雇用や生活の改善に向けて、活動を展開しております。

教育・広報委員会 (委員長：大窄 新二／委員：高橋 康・石山 浩司・大島 聡)

教育・広報委員会は、迅速かつ精密な情報の発信と、人材育成の観点での教育を役割とした取り組みを基本とし、運動方針に則った活動を図っていき、具現化を目指していきます。それらを実現するため【①昨年度で実施した「生活・就労実態アンケート」の集計と分析を行い、労働条件委員会と連携しながら、2018春季生活闘争に活かしていき、さらに継続できる運用を確立する。②教育・広報委員会で作成した「教育体系」を活用し、各級役員への教育に活用するべく様々な可能性を求めて、育成活動に取り組んでいく。③機関紙「NETWORK」とホームページの機能を十分に活かし、定期発行と随時更新を継続させ、迅速で高品質の情報を発信すると同時に、印刷労連全体での情報の共有化を図っていく。④労働者自主福祉運動である「全労済」と「労働金庫」をより組合員へ展開するため、教育・広報委員会ができる最大限の力量を発揮し、情報の発信と教育を追求する。】



以上4点を基軸に向こう2年間に取り組んでいきます。また、全ての専門委員会が相互連携を図るべくバイパス役となり、各専門委員会が最大限のパフォーマンスができるよう支えていきます。みなさんのご協力をお願いします。

総務・財政委員会 (委員長：古賀 初代／委員：中村 彰男・水落 圭吾・嵯峨 友成)



総務・財政委員会は、「組織の充実・強化・拡大」に向けて、①時代の変化に見合った規約の見直しと組織運営、②本部および地方協議会における適正な予算配分と財政処理運営をするべく活動してまいります。

また、「労働者福祉の向上と文化的活動の推進」については、①労金運動の推進と連携、②全労済との連携による「生活保障設計運動」の推進、③「ライフステージと各種制度」を活用した労働者福祉の向上を目指します。労金・全労済との連携、また他委員会との連携を図り、労働者福祉の向上に向けて、積極的に取り組みを進めてまいります。

各地方協議会ならびに構成組織との連携も含めて活動をしていきたいと思っておりますので、皆様のご協力のほど宜しくお願い致します。

各地方協議会ならびに構成組織との連携も含めて活動をしていきたいと思っておりますので、皆様のご協力のほど宜しくお願い致します。

2017 平和行動 in 根室 参加報告

この度は、凸版印刷労働組合として、平和行動に参加させていただき、ありがとうございました。

新聞やTV等の報道では見聞きすることはあるものの、なかなか自分の目でみることにない北方領土問題。日頃、我々国民が平和にならされているなか、緊迫する極東アジアの政治情勢や領土問題はわれわれ国民としてもしっかりした知識と情報を得ておかなければならないと感じ、参加を表明させていただきました。

実際に根室の納沙布岬を訪問し、わずか3.7キロ先に北方領土歯舞群島の貝殻島をこの目で直に見ることができ、改めて近くて遠いという言葉を実感しました。またこの貝殻島で日本が昆布漁をするにあたり、年間約9,000万円のお金をロシア側に払って漁をしているというTVや報道で聞くことができない現状もお聞きし、日露関係を見直す必要があるとも感じました。

いま現在、既に北方領土元島民の平均年齢は82歳となっている中、根室にて元島民の方々の生の声をお聞きしましたが、根室のみならず、日本全体の問題と捉える必要があると感じました。領土問題としては、北方領土のみならず竹島、尖閣諸島など日本全体で取り組まなければならない問題がたくさん残っております。

労働組合として、引き続き元島民の方々の声を政府にあげる、署名活動など凸版労連、そして連合としてできることをして、政府を後押しすることが必要であると感じました。

私個人の話になりますが、印刷業界ではライバルとなっている共同印刷、トッパン・フォームズなどの皆さんと一緒に平和行動に参加し、印刷労連間で繋がりを持つことが出来たのはこれからの会社生活において、大きな財産であると思います。ありがとうございました。

【執筆者：凸版印刷労働組合 情コミ支部 沖山 圭佑さん】



アジア連帯委員会 (CSA) 「第34次救援衣類を送る運動」の取り組み報告

印刷労連は、社会貢献活動の一環として取り組んでいる「救援衣類を送る運動」を今年は9月19日～25日の募集期間を設け、取り組みました。

今年は「コクヨ労働組合、フォームズユニオン、フォームズユニオン関西、フォームズユニオン西日本、図書印刷労働組合、高桑美術印刷労働組合」そして印刷労連本部も合わせ、昨年の1.6倍にあたる31箱(約200kg)をご提供いただきました。

また、海外輸送募金として70,000円を連帯基金から拠出しました。

皆さまのご協力に感謝いたします。ありがとうございました。

今年は手伝ってくれる人が増えて助かった…



今年もこれだけの多くのご協力をいただきました！



UNI-Apro 印刷・パッケージング部会大会 参加報告



2017年9月11日～12日にわたり、福島市のラコパふくしまにおいてUNI-Apro 印刷・パッケージング部会大会が開催され、田倉中央執行委員長、大窄副中央執行委員長、山野内副中央執行委員長、宍戸中央書記長の4名と共に出席してまいりました。また、オーストラリア、台湾、インド、フィリピン、マレーシア、ネパールの各国からUNIの仲間が集結しました。

震災から7年目を迎え、大きな被害を受けた福島の現状を知ると共に、今後の復興の取り組みにも全力で携わっていくこと、また絶対に震災を風化させてはいけないということも改めて認識するべく、今回は福島の地での開催となりました。

初日はUNI-Apro メディア部会との合同での開催となり、労働組合として雇用確保と労働条件の維持向上について世界の仲間との情報共有の重要性、急速な時代の変化への対応やグローバルなつながり、職場や社会における平等についても現状と課題の共有をしました。その後、パネルディスカッションにて①労働組合と労働の未来②グローバル化と地域経済統合の課題に立ち向かう労働組合③労働の未来と世界経済における組織化、について各国の取り組み報告の後、各国との意見交換を行いました。

2日目は印刷・パッケージング部会委員会を開催し、田倉中央執行委員長による「デジタル時代における印刷・パッケージング産業：デジタル化によって生じる問題を企業・産業レベルでいかに労使パートナーシップの下、解決していくか」について導入報告があり、その後、討議、声明、決議の採択を行いました。

デジタル化、人工知能、3D印刷、ロボット化等にもみられるように第4次産業革命により、印刷・パッケージング産業の雇用と仕事への影響もあり、変化する労働の未来へ対応していく必要があります。デジタル化への対応、職場や社会における平等、組織化等の課題に取り組むべく、今後もUNIのグローバルなネットワークで世界の仲間との情報共有を図っていきます。



【執筆者：印刷労連本部 副中央書記長 古賀 初代さん】



編集後記

めっきり寒さが増してきました。皆様におかれましては体調管理など、環境の変化に十分に注意して下さい。気象庁が発表した今年十一月から来年二月の冬の気温は、全国的に「平年並み」の確率が四十%だそう、今シーズンは穏やかな気候になりそうです。

気象の長期予報（季節予報）は、基本的に「アンサンブル予報」というものを用いているそうです。アンサンブル（集団）予報とは天気予報における数値予報の一種で、観測値に基づいた初期値にわずかなばらつきを与えて複数の数値予報を行い、その平均（アンサンブル平均）を求め、平均的な大気の状態を予測するというものです。気象庁では、五日先までの台風予報、一週間先までの天気予報、それより長期の天候予測に用いられています。未来の天気はとも気になるものでも、その未来に目を向けるあまり、足元の水たまりに足をとられないように気を付けたいものです。

教育・広報委員会

大窄 新二

連合  印刷労連
労働相談ダイヤル
03-5442-0191



左記QRコードから、是非、印刷労連のHPもご覧ください。
ID：pimw（半角英数）
PASS：1989（半角英数）